



<取材のお願い>

2024年2月26日
新居浜工業高等専門学校
国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）
さくらサイエンスプログラム推進本部

インドネシアの大学生が日本の環境プラント技術を学ぶ ～新居浜高専生と共に、環境に配慮した次世代型プラント技術者を目指す～

新居浜工業高等専門学校では、3月3日（日）～3月8日（金）、インドネシアのポリテクニック STMI ジャカルタより自動車工学技術を学ぶ大学生4名、教員1名、計5名を招へいし、「環境プラント技術」をテーマに科学技術体験プログラムを実施します。ポリテクニック STMI ジャカルタは自動車産業工学や自動車工学技術等の学科を有し、技術者教育を行うインドネシアの国立高等教育機関です。

本校のある愛媛県東予地区の新居浜市は、住友グループの企業城下町で、各種の製造プラントのメンテナンスを支える技術力の高い中小機械産業や機械加工組立型産業が盛んです。そして、製造品出荷額が県全体の8割近くを占める、四国一のものづくり産業の集積地でもあります。本校では、地域の基幹産業であるプラント技術を支えるため、「次世代型プラント技術者育成特別課程」を開講し、技術者を育成しています。

本プログラムでは、日本が世界に誇る環境プラント設計・製造およびメンテナンス等の技術を学ぶことを目的としています。さらに、新居浜市が銅山開発や銅精錬から重厚長大機械産業や化学製品製造に至った経緯を知り、近年の環境汚染に配慮した資源開発・製造過程・廃棄循環に至る課題を、地元企業が解決してきた技術力についても学びます。

具体的には、インドネシアと本校の学生がPBAL（プロジェクト型アクティブラーニング）による工作実習やCAD実習を行います。さらに、住友重機械工業株式会社愛媛製造所新居浜工場（新居浜市）を訪問し、環境に配慮した取組や、重厚長大な機器から精密機器のものづくり現場やCFBボイラの試験設備を見学します。また、別子銅山記念館（同市）では公害対策を学んだり、マイントピア別子（同市）では銅鉱石採鉱坑道などを見学したりします。3月6日（水）には、プログラムのまとめとして成果報告会を行います。

本プログラムでPBALなどのKOSEN（高専）型教育を行うことで、両国のグローバルエンジニア人材の育成・交流が加速することが期待できます。また、本校がKOSEN型教育の海外展開の一翼を担うことによって、資源の乏しいわが国にとって、産業界における持続可能な人材開発・確保に貢献できると思います。

本プログラムは、科学技術振興機構（JST）主催の「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」*に採択されたものです。



*「国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）」科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。一般公募プログラムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費を JST が支援します。 <https://ssp.jst.go.jp/>



つきましては、招へい者と本学の学生が PBAL 授業に取り組む様子、環境プラント等を見学する様子、成果報告会の様子などを取材していただきたくお願い申し上げます。なお、実施担当の日野孝紀教授へのインタビュー取材もアレンジが可能ですので、ご希望の方は担当者までご連絡くださるようお願いいたします。

【実施内容】 ●PBAL 授業「純銅の反応と銅合金の合成」「工作デザイン実習」ほか ●史跡学習（採鉱と精錬における公害対策） ●銅鉱石採鉱坑道見学 ●環境プラント見学 ●成果報告会 ●意見交換会

【実施場所】 新居浜工業高等専門学校、別子銅山記念館、マイントピア別子、住友重機械工業ほか

【研修日程概要】

3月3日（日）	午前：来日 午後：オリエンテーション（愛媛大学ゲストハウス）
3月4日（月）	午前：松山市史跡見学、新居浜市へ移動 午後：相互紹介、実験実習見学（新居浜高専）
3月5日（火）	午前：PBAL 授業「純銅の反応と銅合金の合成」（新居浜高専） 午後：PBAL 授業「工作デザイン実習」（同上）
3月6日（水）	午前：PBAL 授業「CAD・CAM・CNC 実習」、報告書作成（新居浜高専） 午後：成果報告会、意見交換会、修了式（同上）
3月7日（木）	午前：工場（製造・試験設備）見学（住友重機械工業） 午後：別子銅山記念館見学（史跡学習、採鉱と精錬における公害対策）、マイントピア別子訪問（銅鉱石採鉱坑道見学、銅細工学習）
3月8日（金）	離日

■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先
新居浜工業高等専門学校
（担当：奥本）

■国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）に関するお問い合わせ
JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室
https://form2.jst.go.jp/s/kouhou_form（担当：田中（禎）、太田）